

昨年に引き続き参加させていただきました。都道府県駅伝は、自分の中では中学生の頃からの憧れの大会で、2年前まではテレビで応援する大会でした。この大会へは関わることはないと思っていたので、今年も参加させていただき、感謝しています。

大会本番は8区の中学生選手（川上わかば選手）の付き添いをしました。控え場所となっているビルの管理人さんが長崎県出身の方で、場所取りに行ったときに話をして、話がはずみました。何年も前から長崎県を応援して下さっている事を知り、本当に嬉しくなりました。しかも、寒いからということで選手用に下に敷く毛布と、脚にかける毛布まで貸して頂きました。

川上選手を送り出し、7区の鉦取選手を迎え、その後地下鉄などを乗り継ぎ、ゴールの西京極へ向かいました。競技場に入る石畳のところで、藤永さんを大声で応援したのですが、涙があふれてきました。

たくさんの方の支えがあって選手は都大路を走ることができたのだと改めて実感しました。ほとんどの選手の家族の方が応援に来られていましたし、県人会の方は到着した日にも宿舍まで来られて激励をして下さいました。県人会の方に招待され、慰労会に参加させて頂き、そこでこの大会にかける県人会の方の思いを知り、期待の大きさを実感しました。そして、合宿の時にペースメーカーをしてくれた高校生の男子選手もいて、本当にチーム長崎って素晴らしいなーと感じました。

普段から選手を指導されている各学校の指導者の方が、選手を良い状態でこの大会へ送り出して下さり、感謝しています。今回悔しい思いをした選手は、また力をつけて戻ってきたいと言っていました。これからもこの大会は、中・高校生の目標の大会であって欲しいと思います。

他の都道府県も力をつけて、少しでも上位へ入ろうと強化してくると思います。長崎が上位に入るお手伝いが少しでもできればと思います。今回は、職場の理解もあり、年末年始の合宿、と木曜から月曜日の大会期間中すべて参加できました。

しかし、女性スタッフが少ないと感じました。少しでも協力して下さる方がいらっしやれば…と思います。